

# 仮名・ものがたり・随想

## ——江戸の〈知〉の展開——

室町から江戸へと連なる17世紀の散文文芸の種々相を、表記（仮名）・様式（ものがたり）・内実（随想）に基づいて地続きのものとして捕捉し、そこに底流するさまざまな〈知〉の展開を時代に即して追跡します。「御伽草子」「仮名草子」「浮世草子」といった文学史の概念を一方に睨みながらも、自在かつ長い射程で作品とその背後に揺曳する〈意識〉を探索し、その時代の作品群が有していた諸問題に試探を入れます。〈雅俗〉や〈和漢〉に留まらず、仏教と文芸、教訓と滑稽、写本と刊本、絵入り本、上方と江戸など、多様な位相の差異性にも留意します。

- ◆ 日時：2018年4月20日（金）13:30～17:30（開場：13:00）
- ◆ 場所：国文学研究資料館2F、オリエンテーション室
- ◆ プログラム
  - 13:30～13:40 挨拶 ロバート キャンベル（国文学研究資料館長）
  - 13:40～13:50 コーディネーター 神作研一（国文学研究資料館教授）
  - 13:50～14:20 ダヴァン ディディエ（国文学研究資料館准教授）  
仮名法語が伝えた中世の禅思想—夢窓と大燈の思想的な特徴を中心に
  - 14:20～14:50 恋田知子（国文学研究資料館准教授）  
物語草子と仮名法語
  - 14:50～15:20 コメント及び質疑応答 ディスカッション 入口敦志（国文学研究資料館教授）
  - 15:20～15:50（休憩）
  - 15:50～16:20 畑中千晶（敬愛大学教授）  
知的空間としての『男色大鑑』
  - 16:20～16:50 ダニエル ストリューヴ（パリ・ディドロ大学教授）  
西鶴作品と随想の関係について — 町人ものを中心に
  - 16:50～17:20 コメント及び質疑応答 ディスカッション 川平敏文（九州大学准教授）
  - 17:20～17:30 閉会のことば 谷川恵一（国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター長）

◆主催：国文学研究資料館（問い合わせ先）古典籍共同研究事業センター事務室 古典籍共同研究係

TEL: 050(5533)2988 FAX: 042(526)8883 e-mail: cijinfo@nijl.ac.jp

◆同時開催：国文学研究資料館展示室 特設コーナー：「江戸の人々が見た禅」

会期：平成30年3月15日（木）～5月8日（火） <http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/zenn.html>

★共催：歴史的典籍NW事業国際共同研究「中近世日本における知の交通の総合研究」（代表：ダヴァン・ディディエ／2018～20年度）・日本学術振興会科学研究費基盤研究（A）「日本古典籍における表記情報学の発展的研究」（代表：今西祐一郎）